



# ぱたぽん通信

制作：東野小 学校応援団ぱたぽん 発行：PTA会長 原 三千男

2021年  
4月号

入学・進級おめでとうございます！新しい生活にも慣れてきた頃でしょうか。  
4月21日(水)に今年度第1回の読み聞かせをおこないましたので、お知らせします。

## 1-1 『そらまめくんのベッド』★

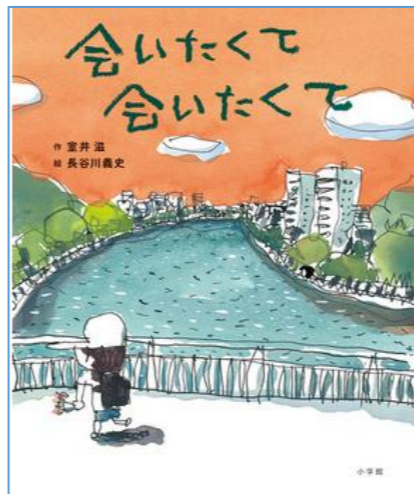


なかや みわ 作/絵  
福音館書店/1997年

そらまめくんの宝物はたからものベッドです。うずらのお母さんがベッドで卵をあたためています。やがてひよこが生まれ、ベッドもどりみんなで祝いを行います。

(川畑 けい子)

## 2-2 『会いたくて 会いたくて』

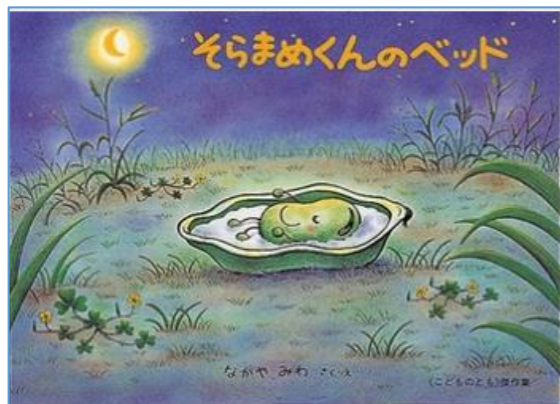


室井 滋 作  
長谷川 義文 絵  
小学館/2021年

コロナ禍で面会もできないおばあちゃんと孫ケイちゃんとの交流。さてどんな方法で話げできたのでしょうか。会えないことのさびしさを大人も子どもも感じる今です。

(廣吉 和子)

## 1-2 『そらまめくんのベッド』★

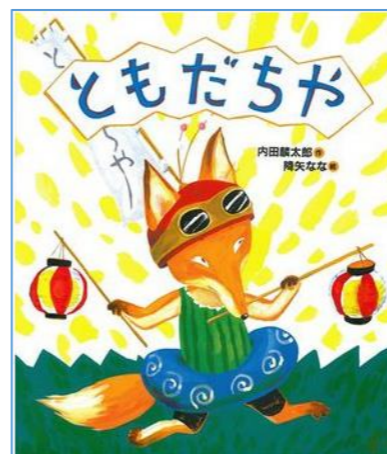


なかや みわ 作/絵  
福音館書店/1997年

そらまめくんのたからものはフカフカのベッド、ところがある日そのベッドがなくなってしまいました。どこをさがしても見つかりません。でも……。

(上野 邦晴)

## 2-3 『ともだちや』★

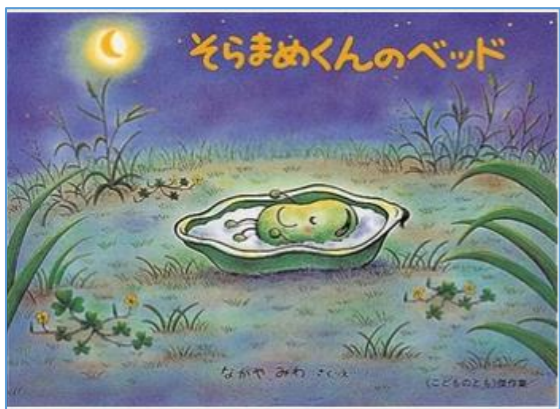


内田 麟太郎 作  
降矢 なな 絵  
偕成社/1998年

キツネは友達ほしい人一時間ひやくえんと、友達やをはじめますが、友達ってお金でかえるのかな？

(伊藤 桂子)

## 1-3 『そらまめくんのベッド』★

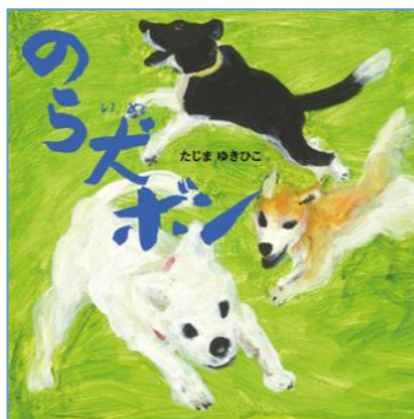


なかや みわ 作/絵  
福音館書店/1997年

そらまめくんは、ふかふかのベッドがたからもの。だれにもかしてくれませぬ。あるひ、そのベッドがみあたらなくなつてこまってしまう。

(佐藤 法子)

## 2-4 『のら犬ボン』



たじま ゆきひこ 作/絵  
くもん出版/2017年

お父さんの転勤で犬のボンを飼えなくなりボンは島にすてられる。ボンは待ちつづけながらケガをしたり苦しう中生きていくが、さてボンはどうなるのでしょうか？

(唐 勝子)

## 1-4 『そらまめくんのベッド』★

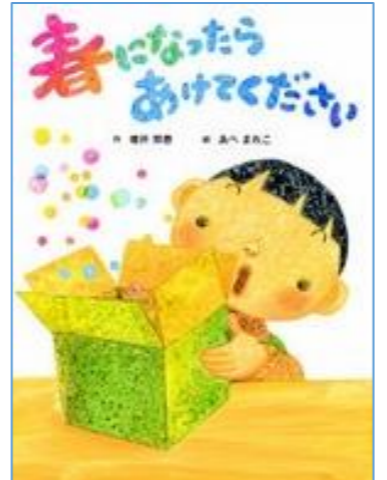


なかや みわ 作/絵  
福音館書店/1997年

そらまめくんのベッドはふわふわのじまんのベッド。ある日そのベッドがなくなつてしまいました。あわててベッドをさがすとベッドはうずらが楽にしています。

(飯村 愛子)

## 3-1 『春になったら あけてください』



増井 邦恵 作  
あべ まれこ 絵  
BL出版/2008年

けんしょうに当たり品物がとどきました。中には春になったらあけてくださいと書かれた手紙が入っていました。

(齊藤 みゆき)

## 2-1 『えんぴつとケシゴム』



カレン・キルパトリック/ルイス・O・ラモス・ジュニア 作  
ヘルマン・ブランコ 絵  
高畑 正幸 訳  
角川書店/2020年

えをかくにはエンピツだけあればいい？これは、かくのが大好きなエンピツと消すのが大好きなケシゴムが、エンピツケシゴムになるまでのものがたり。

(相馬 佳奈)

## 3-2 『ともだちや(大型絵本)』★



内田 麟太郎 作  
降矢 なな 絵  
偕成社/1998年

ある日、キツネは「ともだちや」をはじめめることを思いつきました。1時間100円で友だちになる「ともだちや」。さて、どんなおきゃくさんがきてくれるのでしょうか。

(坂本 香奈)

他 『オレ、カエルやめるや』  
マイクロマガジン社

「ぱたぽん」は、  
絵本「まりーちゃんとひつじ」の  
ひつじの名前からとりました。  
東野小 読み聞かせ活動の名前です



うら面もご覧ください →

3-3 『ともだちひきとりや』★



内田 麟太郎 作  
降矢 なな 絵  
偕成社/2002年

イノシシとイタチはケンカばかり。そこでキツネとオオカミは「ともだちひきとりや」に扮して二人を仲直りさせようとします。

(栗谷 陽子)

5-2 『またまた ねえ、どれがいい?』



ジョン・バーニンガム 作/絵  
まつかわ まゆみ 訳  
評論社/2018年

「えー、えらべない!」という声が聞こえてきそうな究極の選択が登場しますよ。

(森田 有子)

3-4 『つられたら たべちゃうぞ おぼけ』



乾栄 里子 作  
田中 六大 絵  
童心社/2014年

「つられたら〜たべちゃうぞ〜」大きな口をあけてやってきたおぼけ。最初はこわがっていたみんなもだんだん楽しくなってきた・・・。

(山口 真由美)

5-3 『せかいで いちばん つよい国』★

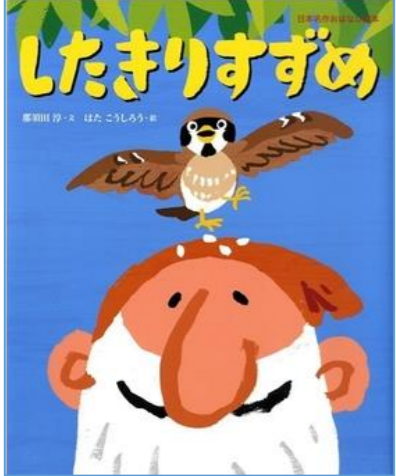


デビッド・マッキー 作/絵  
なががわ ちひろ 訳  
光村教育図書/2005年

大きな国はいろんな国と戦争をして世界を征服しようとしていました。最後に残った小さな国。征服しようとして戦争に出かけましたが、小さな国は兵隊がいないうえに、大きな国を歓迎してくれました! 大きな国はどうなったでしょう?!

(西澤 美穂子)

4-1 『したきりすずめ』



那須田 淳 作  
はた こうしろう 絵  
小学館/2010年

ばあさまの作った洗濯のりを食べてしまい舌を切られてしまった子すずめ。心配したじいさまはにげた子すずめを探しに行きますが・・・。

(松本 幸恵)

6-1 『ヤクーバとライオン I. 勇気 II. 信頼』



ティエリー・デデュー 作/絵  
柳田 邦男 訳  
講談社/2008年

いつの時代にもありうる社会の苦悩を、少年ヤクーバとライオンのやりとりを通じて考えさせられる一冊。絵の迫力に驚き、ストーリーの展開も驚かされます。

(佐藤 祐子)

4-2 『どんなかんじかなあ』★

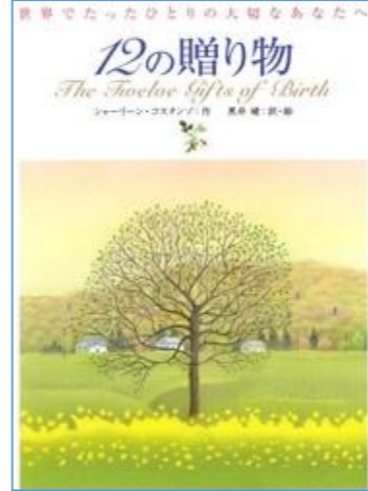


中山 千夏 作  
和田 誠 絵  
自由国民社/2015年

めがみえないってどんなかんじかな。みがきこえないってどんなかんじかな。僕は考える。そうすると、色んなことがみえてきた。あとがきまで読んで欲しい一冊です。

(後藤 順子)

6-2 『12の贈り物』

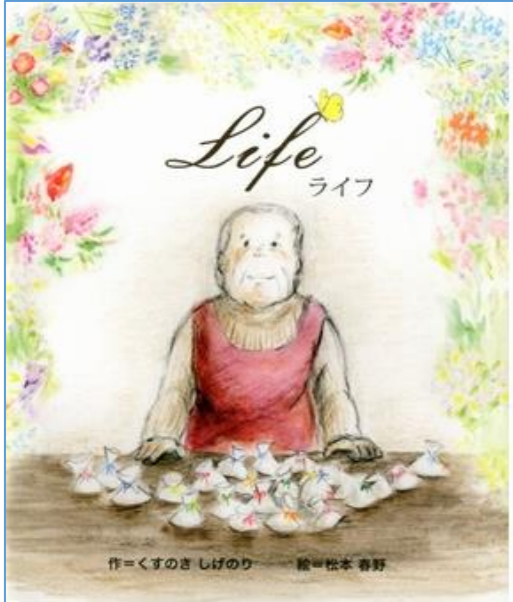


シャーリーン・コスタanzo 作  
黒井 健 訳/絵  
ポプラ社/2003年

あなたが生まれた時に12の贈り物がさずけられました。かけがえのない命とすばらしい人生のために。自信を失った時つらい時思い出して読み返してほしい一冊です。

(河東 友子)

4-3 『Life ライフ』



くすのき しげのり 作  
松本 春野 絵  
瑞雲舎/2015年

まちはず 町外れの「ライフ」という小さなお店。お店といっても誰かが働いているわけでも、何かを売っているわけでもありません。ある日一人のおばあさんがライフにやってきました。冬の間もライフにはたくさんの人が訪れ、そしてすてきな春がやってきました。

(菅原 幸子)

6-3 『せかいいち しあわせな クマのぬいぐるみ』

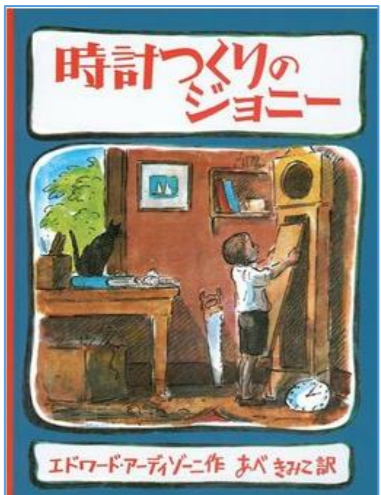


サム・マクブラットニイ 作  
サム・アッシャー 絵  
吉上 恭太/訳  
徳間書店/2019年

いまから50年ほど前のお話です。クマのぬいぐるみ「ウーウー」は、いろいろな子どもたちの手にわたりますが、最後にすてきな奇跡がおきて世界一幸せになります。

(三澤 文美佳)

5-1 『時計づくりのジョニー』



エドワード・アーディゾーニ 作/絵  
あべ きみこ 訳  
こぐま社/1998年

器用な少年ジョニーは、冷やかしか親の反対にもめげず、唯一の味方に励まされて大好きな大時計づくりに挑みます。その熱意には、これ以上ない結末が訪れます。

(渡邊 明子)



次回の読み聞かせは  
7月14日(水) 8:25~8:40です。  
お楽しみに!

なお、保護者のみなさんも見学できます。  
ぱたぼん通信が本選の参考になればうれしいです♪

